

都民による事業提案制度実施要綱

決定 平成 29 年 9 月 28 日 29 財主財第 123 号

改正 平成 30 年 6 月 28 日 30 財主財第 75 号

改正 令和元年 5 月 27 日 31 財主財第 36 号

改正 令和 3 年 3 月 19 日 2 財主財第 272 号

1 実施目的

東京都（以下「都」という。）は、予算編成過程に都民一人ひとりの声を直接反映させることで、従来の発想に捉われない新たな視点から都政の喫緊の課題を解決することを目的として、都民による事業提案制度を実施する。

2 対象事業

(1) 対象事業の要件

次のアからウまでの全ての要件を満たすものを対象とする。

ア 次の(ア)から(オ)までのいずれかの視点を踏まえたもの

(ア) コロナ禍からの持続可能な回復を実現するサステナブル・リカバリー

(イ) 誰一人取り残さないインクルーシブ（包摂的）な社会の形成

(ウ) 5G、IoT、AI、ビッグデータ等のデジタル技術の活用

(エ) 区市町村、企業、NPO 法人、地域コミュニティ、研究機関など多様な主体との協働

(オ) その他、従来の発想に捉われない時代の変化に即した視点

イ 1 事業につき 2 億円以内のもの

ウ 原則として単年度事業であるもの

(2) 対象事業から除外するもの

次のアからケまでのいずれかに該当すると認められるものは、対象事業から除外する。

ア 営利目的又は特定の個人若しくは団体のみが利益を受けることを目的とするもの

イ 政治活動、宗教活動又は選挙活動を目的とするもの

ウ 現金給付又は施設整備を目的とするもの

エ 公序良俗に反するもの

- オ 3で定める提案者の要件を満たさない者が提案したもの
- カ 4で定める提案方法によらずに提案されたもの
- キ 都の施策として既に存在していると認められるもの
- ク 事業実施が不可能なもの
- ケ その他、対象事業としてふさわしくないもの

3 提案者

(1) 提案者となることができる者

次のアからウまでのいずれかに該当する者を対象とする。なお、単独でもグループでも提案者となることができる。

- ア 提案日の属する年度の4月1日時点で満15歳以上であり、提案日時点で都の区域内に住所を有する者
- イ 提案日の属する年度の4月1日時点で満15歳以上であり、提案日時点で都内へ通勤・通学している者
- ウ 提案日時点で都内に活動拠点を有する法人その他の団体

(2) 提案者から除外する者

次のアからオまでのいずれかに該当する者は、提案者となることができない。

- ア 東京都職員
- イ 東京都政策連携団体(東京都政策連携団体の指導監督等に関する要綱第21にて定義される団体) 職員
- ウ 事業協力団体(東京都政策連携団体の指導監督等に関する要綱第22にて定義される団体)のうち東京都政策連携団体を除く団体の職員
- エ 東京都議会議員
- オ 暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)に規定する暴力団をいう。)関係者

4 提案方法

提案者は、別に定める募集期間中に、専用応募フォームへ入力・送信することにより、又は別紙「都民による事業提案制度提案様式」に必要な事項を記載した上で都が指定した宛先へ送付することにより、事業提案を行う。

5 選定方法等

(1) 選定方法

- ア 都において提案内容を審査し、投票対象事業を決定する。

イ 投票対象事業について都民による投票を行い、その結果を踏まえ、予算案に計上する事業案を知事が決定する。

(2) 提案の取扱い

事業内容は、提案の趣旨を踏まえた上で都が修正・変更を行う場合がある。なお、提案内容の審査結果や選定経過などに対する個別の回答は行わない。

(3) 審査の着目点

提案内容の審査は、次のアからオまでの項目に着目して実施する。

ア 課題設定・解決策の妥当性

- ・課題設定が明確であり、かつ、その解決策としてふさわしいものであるか
- ・地域に密着した課題の解決を図るものであり、かつ、広域的に効果が波及するものであるか

イ 事業の効果

- ・提案事業を行うことで、都民に対して大きな効果が見込まれるか

ウ 新たな発想の活用

- ・2(1)アに掲げる視点を有するものであるか

エ 事業費の適正性

- ・想定事業費に対して十分な事業効果が見込まれるか

オ 事業の公共性

- ・行政が行うべき公共性を有したものであるか

6 投票

(1) 投票者の要件

投票日の属する年度の4月1日時点で満15歳以上であり、投票日時点で都の区域内に住所を有する者

(2) 投票者から除外する者

3(2)に掲げる者

(3) 投票回数

都民一人当たり一回までとし、投票は取消不可とする。投票者は投票した事業について意見を付すことができる。

7 結果の公表

実施する事業案は、予算案の発表時に知事が公表する。

8 議会の議決

事業案は、東京都議会における議決をもって確定する。

9 権利の帰属

本制度において提案されたものに係る権利は、全て都に帰属するものとする。

なお、提案に含まれる発明、実用新案、意匠及び商標に係る産業財産権については、権利者に引き続き帰属する。

10 個人情報の取扱い

本制度により保有する個人情報については、東京都個人情報の保護に関する条例(平成2年東京都条例第113号)その他所要の規定に基づき、適切に処理する。

11 その他

この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成29年9月29日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年6月29日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年5月31日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年3月22日から施行する。

「都民による事業提案制度」提案様式

注意事項

※は記入必須項目です

・提案事業が都の予算案へ反映された場合、当該提案の提案者に対して、感謝状等を贈呈することを検討しております。
贈呈を希望される方は、メールアドレス・電話番号をご入力頂きますようお願い致します。

○ 提案者

ふりがな ※氏名(又は法人名・グループ名)		(法人・グループによる提案の場合)担当者又は代表者名 ※生年月日(法人の場合不要)	年 月 日
メールアドレス		電話番号	
※応募資格	<input type="checkbox"/> 1、東京都内に住んでいる <input type="checkbox"/> 2、都外から都内へ通勤・通学している <input type="checkbox"/> 3、都内に活動拠点を有する法人その他の団体		

1を選択した方は自宅住所を、2を選択した方は通勤・通学先の住所を、3を選択した方は活動拠点の所在地を記入してください。

※住所・所在地

※暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)に規定する暴力団をいう。)関係者に該当しませんか。
該当しません

※実施要綱への同意 同意します

○ 提案事業の基礎情報

※事業名	
※分野	<input type="checkbox"/> 出産・子育てへの支援 <input type="checkbox"/> 長寿社会の実現 <input type="checkbox"/> 女性が輝く社会づくり <input type="checkbox"/> 感染症対策 <input type="checkbox"/> 防災対策 <input type="checkbox"/> 起業・創業、イノベーションの促進 <input type="checkbox"/> 脱炭素社会の実現 <input type="checkbox"/> 社会のデジタルシフトの推進 <input type="checkbox"/> その他
※想定事業費	<input type="checkbox"/> 5,000万円以下 <input type="checkbox"/> 5,000万円超から1億円以下 <input type="checkbox"/> 1億円超から1.5億円以下 <input type="checkbox"/> 1.5億円超から2億円以下
包含する視点(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 持続可能な回復を実現するサステナブル・リカバリー <input type="checkbox"/> 誰一人取り残さないインクルーシブな社会の形成 <input type="checkbox"/> 5G、IoT、AI、ビッグデータ等のデジタル技術の活用 <input type="checkbox"/> 区市町村、企業、NPO法人、地域コミュニティ、研究機関など多様な主体との協働 <input type="checkbox"/> その他(具体的に: _____)

※事業の要約(最大200字以内)

○ 提案事業の内容

※提案に当たっての現状・課題・背景(最大200字以内)

※事業の詳細、事業を実施することによる効果(最大1,000字以内)

○ アンケート

この提案制度を何で知りましたか(当てはまるものを全て選択してください)

東京都公式ホームページ 東京都財務局ホームページ 広報東京都
ツイッターなどのSNS 高校、大学 デジタルサイネージ(どこで見ましたか: _____)
その他(具体的に: _____)